

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.7 億円
		通常砂防事業 におたに 鳩谷川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
三原郡 南淡町 ^{ふくら} 福良			16年度	16年度	18年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産及び町道、老人福祉センターを保全する。	・砂防堰堤工 1基 (H = 13.5m , L = 46.0m)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	・鳩谷川は土石流危険渓流である。 ・渓流の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象: 人家 = 24戸、公共施設 = 1級町道102号線(迂回路なし) 老人福祉センター(仁尾荘)
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家24戸)及び1級町道102号線(迂回路なし) 災害弱者関連施設である老人福祉センター仁尾荘が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である
(3)環境適合性	・人家等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家24戸、1級町道102号線、災害弱者関連施設の老人福祉センターがある。 ・流域の荒廃が激しく進み、土砂流出の危険性が高く、福良地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。